

魚沼市自然環境保全事業

平成29年度(2017年度)

平成30年度(2018年度)

魚沼市自然環境保全調査報告書

～自然を活かしたまちづくりのための市民参加型調査～

監修：倉重祐二／富永 弘／藤塚治義

発行：魚沼市

はじめに

平成28年度に続き、この度、市民との協働調査により平成29、30年度の魚沼市自然環境調査報告書が刊行されたことは、大変喜ばしい。

環境省の2018年発表のレッドリストでは、日本原産の維管束植物7,000種のうち1,786種が絶滅危惧植物に選定されている。この数字は2000年に最初に公表された1,665種より121種の増加であり、さらにすでに絶滅、野生絶滅した植物を見ると2000年の25種から39種と14種増加している。このような危機的な状況に鑑み、各地で自生地での保全活動や生息域外保全（植物園などで植物を栽培したり、種子を保存したりする自生地外での保全）活動が行われているが、レッドリストの数字からは現在の植物の置かれた危機的な状況だけではなく、人との関わりの深い里山や水辺を中心とした生物の生息環境が年々悪化し、多様性が失われていることが如実に示されている。

魚沼市には里地や里山、山岳、湿地、河川、湖沼などの豊かで多様な環境があり、多種多様な生物が生育しているが、日本全体の状況から判断すれば、安穏と構えることなく生物相の解明や長期的なモニタリング、保全対策が重要だと考えられる。

このため平成23年度より魚沼市自然環境保全調査委員会が設置され、同年より、他に例を見ない市民参加型の植物相の調査が開始された。その後、昆虫、鳥類、両生類も加わり、魚沼市の里山を中心とした生物相が明らかになってきた。さらに、生物多様性保全セミナーの開催や報告書の出版など、市民に対して成果を積極的に公表している。さらに、平成28年には、自然環境保護条例による保護地区や保護動植物を指定する体制もとられたように、継続的、計画的に自然環境の保全を行なってきたことは高く評価できる。今後、種の保存法や外来生物法への対応、他地域との連携や自然環境の利用なども検討が必要であろう。

市民の理解と協力を得て保全を推進するためには、継続的な調査はもちろん、子供に対する教育の充実や市民向けの講座の開催、保全活動への支援などを通じて、かけがえのない魚沼市の自然の重要性を理解し、市民自ら守っていくようになることが必要であろう。本報告がその一助になれば幸いである。

最後になるが、設置当初より長らく本委員会の委員長を務められた元新潟大学教授の石沢進先生が平成30年1月にお亡くなりになった。県内の植物相の解明に大変大きな功績を残されただけでなく、魚沼市の自然環境保全事業についても石沢先生のご尽力によるところが大きかった。この場を借りて、先生のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げたい。

2019年3月

魚沼市自然環境保全調査委員会 委員長
新潟県立植物園 園長 倉重 祐二

目 次

口絵	1
1. 調査概要	5
2. 植物調査	9
口絵	11
(1) 調査目的・背景	13
(2) 調査地域の位置	13
(3) 調査方法	14
(4) 調査結果	15
(5) 2017年度・2018年度植物調査の評価と今後の展望（富永 弘）	18
(6) 参考文献	24
(7) 目録から削除した種について	25
植物目録	26
3. 鳥類調査	49
口絵	51
(1) 調査目的・背景	53
(2) 調査地域の位置	53
(3) 調査方法	55
(4) 調査日時と調査員	55
(5) 調査結果	56
(6) 2017年度・2018年度鳥類調査の評価と今後の展望（桑原和寿）	58
(7) 参考文献	61
鳥類目録	62
4. 両生類調査	65
口絵	67
(1) 調査目的・背景	69
(2) 調査地域の位置	69
(3) 調査体制と調査方法	70
(4) 調査結果	71
(5) 2017年度両生類調査の評価と今後の展望（横山正樹）	72
(6) 参考文献	77
両生類目録	78
5. 昆虫調査	79
口絵	81
(1) 調査目的・背景	83
(2) 調査地域の位置	83
(3) 調査方法	84
(4) 調査期間と期日	85
(5) 調査結果	85

(6) ギフチョウ重点保護地区の生息状況・生息環境調査	86
(7) マダラナニワトンボの生息状況調査	87
(8) 2018年度昆虫調査の評価と今後の展望（横山正樹）	87
(9) 参考文献	90
(10) 誤同定について	91
昆虫目録	92
おわりに（富永弘）	97

2017・2018年度 植物調査風景写真



調査の様子 (2017年7月20日 鳥屋ヶ峰)



調査の様子 (2017年7月20日 鳥屋ヶ峰)



調査の様子 (2017年8月17日 鳥屋ヶ峰)



調査の様子(2018年5月17日 池ノ山の池)



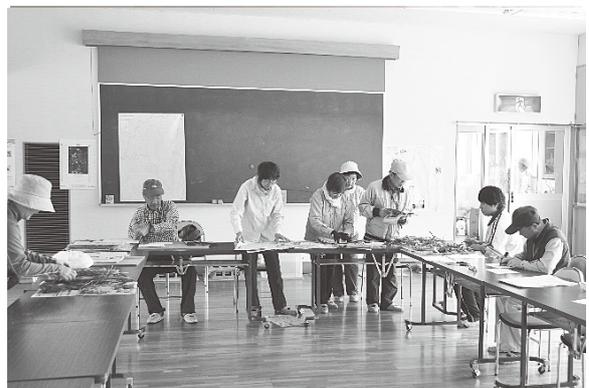
調査の様子(2018年6月26日 池ノ山の池)



調査の様子(2018年7月11日 池ノ山の池)



調査の様子(2018年9月30日 池ノ山の池)



標本作成の様子 (2017年5月2日)

2017・2018年度 鳥類調査風景写真



調査の様子 (2017年5月7日 杉ノ入沢)



調査の様子 (2018年5月6日 杉ノ入沢)



調査の様子 (2017年5月14日 魚野地)



調査の様子 (2017年5月21日 銀山平)



調査の様子 (2018年5月13日 竜光小芋川)



調査の様子 (2018年5月20日 福山新田)



調査の様子 (2018年2月18日 梅田養魚場)



調査の様子 (2019年2月17日 新柳生橋)

2017年度 両生類調査風景写真



調査の様子 (4月26日 根小屋)



調査の様子 (4月30日 横根)



調査の様子 (5月20日 竜光)



調査の様子 (5月20日 小芋川)



調査の様子 (6月21日 根小屋)



調査の様子 (6月24日 松川)



調査の様子 (6月24日 松川)



調査の様子 (6月24日 福山)

2018年度 昆虫調査風景写真（追跡調査含む。）



守門岳大原登山口付近（入広瀬地域）



浅草岳右沢（入広瀬地域）



池ノ山の池（守門地域）



池ノ山の池湿地（守門地域）



大芋川中山峠（広神地域）



大芋川（広神地域）



熊取杉林（福山地域）



福山新田ブナ林（福山地域）